



西宮ユネスコ

2016.3 第144号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）

発行人：古 胡 博 巳 編集人：小 林 民 子



～好循環～

会長 辰馬 章夫

大正14年4月1日人口3万4千人で産声をあげた西宮市は90年の歳月を経て、48万9千人の人口を擁する全国屈指の住宅都市に成長しました。（市制90周年記念祭に際しての今村岳司西宮市長・西宮ユ協名誉会長の挨拶より）その間、昭和38年（1963年）に文教住宅都市宣言、平成15年（2003年）に環境学習都市宣言と都市のあり方のコアとなる宣言がなされました。環境に関し「環境学習都市」と取って「学習」を入れているのは、他都市には見られない西宮市独自の意思表示であります。

ユネスコ運動のテーマのひとつでもある環境、その視点から西宮を知る（特に子どもたちに浸透させたい）。それが郷土愛につながる。郷土愛から地域の課題を見つけ課題解決に知恵を絞る。出た答えを実践し結果を検証する。更に改善を加えて次のアクションにつなげる。これが持続可能な街づくりへの好循環です。クリーンな環境を後世に引き継ぐことの原点はいつもあとの人のことを考えて行動すること、他人への思いやりと生命の尊厳をいつも心にとどめていること、文化の多様性を認め合うことです。ESDで育む子どもたちの能力や心の持ち方、人格形成も好循環への歯車を回すエネルギーです。ところがこの狭い地球で悲慘な負の循環が跡を絶ちません。

平和とは逆方向の対立・紛争・内戦・テロ等々、殺し合い・報復・憎しみ合いの増幅と、心の中の平和のとりでが揺らいでいます。暴力的手段では精神コントロールはできません。多くの人々の尊厳や基本的人権が損なわれている現状、貧困からくる負の連鎖をたち切ろうとしているのがユネスコ運動です。

ユネスコ親善大使である千玄室茶道裏千家大宗匠は、地球をお茶室に見立てて「お茶をいただく時は、みんなが一緒になって平等、身分の上下なし隣同士一盃のお茶をもってすすめ合う。お茶室の中で平等にしかも人間としていたわり合っていくには、自ら頭を下げて小さなにじり口から出入りする。そのことがいちばん大事な平和のもとなんです」と説かれています。茶道外交「一盃からピースフルネス」の思いが伝わってきます。ノーベル平和賞受賞者であるパキスタンのマララ・ユスフザイさんは「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペン。それで世界は変えられる」と述べています。一滴の水でも寄り集まれば大きな流れとなります。一盃のお茶、一冊の本、一本のペンそして西宮ユ協の草の根運動一枚の書き損じ葉書で、平和のとりでを築く好循環への歯車を回し続けて行きましょう。

（辰馬本家酒造株取締役相談役）

『東日本大震災こども 教育支援募金』

西宮ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟が取り組んでいる「東日本大震災教育復興支援」への協力の一環として2015年10月18日、阪急電車西宮北口駅アクタへの通路において募金活動を行いました。今回の募金活動では、西宮市立西宮東高等学校生徒会の皆さんに応援していただき、より大きな成果を上げることができましたが、当時、生徒会の会長であった熊谷剛さんより感想文を寄せていただきましたのでご紹介します。なお、募金活動で寄せられた全額を日本ユネスコ協会連盟へ送金しました。また、ご尽力いただきました同校生徒会指導主管の幣慎嗣先生並びに西宮市教育委員会人権教育推進課の皆さまにも深く感謝いたします。



『募金活動に参加して』

西宮市立西宮東高等学校 熊谷 剛

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。当時小学生だった僕にとっても本当にショッキングな出来事でした。

その東日本大震災から今年で5年目になります。人々の関心は薄れメディアでも取り上げられることは少なくなってきました。そんな中、「子ども支援募金」の活動に参加させていただいたことは貴重な体験でした。僕がこの活動に参加するのは今回で三回目でした。第一回の時には「募金活動にご協力お願いします」と、この一言を言うのに緊張したのを覚えています。募金に協力してくださる方の多くは「良い活動だね」や「頑張ってるね」など声をかけて下さいました。その一言にはとても勇気づけられるものがありました。

僕はあるボランティア活動で東北の地を訪問したことがあります。約一年前の事なので今とは異なることもあります。津波の被害を受け何もない町を見、仮設住宅にお住まいになるたくさんの方にお会いさせていただきました。特に仮設団地を訪問した時

には、思いっきり走って遊ぶことのできない多くの子供達を見てきました。今回、西宮ユネスコ協会でのボランティア活動はそんな子どもたちの笑顔を生むものになると思いました。まだまだ支援は必要です。一人でも多くの子供達が笑って過ごせるよう継続して支援を行っていきたいと思います。ありがとうございました。



なごやかに新年会

大前 繁雄

毎年、1月の第4土曜日は、西宮ユネスコ協会の活動スタート日です。今年も24日、ノボテル甲子園で恒例の新年会が、和気あいあいの雰囲気の中で開かれました。

ユーモアに富んだ辰馬会長のごあいさつに続いて伊藤裕美さんの音頭で乾杯。そのあとはホテルの美味しいごちそうを楽しみながら談笑の輪が広がります。各テーブル出席者の自己紹介・スピーチから今年の運を占う「抽選会」、そしてフィナーレの「懐しの歌」全員で合唱と、楽しいひとときが続きます。

残念ながら私は、毎年別の行事と重なり途中退席となるのですが、次の年は是非フィナーレまで席を温めたいと念じつつ、会場をあとにした次第です。

●●● 研修見学会 ●●● “岸和田まち歩き”

八木紀代子

延びのびになっていた研修見学会を2月9日開催の運びとなり岸和田を訪ねました。

10時に南海電車岸和田駅で当地のボランティアガイドさんと合流し総勢15名が参加いたしました。あいにくの小雨模様に加え折からの寒風に震えながら、紀州街道沿いの古いまち並みを通り抜け「きしわだ自然資料館」に到着。岸和田のなりたちやキシワダワニの化石、ナウマンゾウや恐竜の模型、更に寄贈された鳥類や北極グマをはじめあらゆる動物の剥製が数多く展示されていました。資料館を後にする頃には青空が広がってほっとしたことでした。

岸和田と言えば「だんじり祭」ですが、そのすべてを紹介する「だんじり会館」を訪れ、実物のだんじりと大型マルチビジョンによる映像で岸和田っ子の「心を踊らせるだんじり祭」の迫力を体験することができました。およそ300年の伝統を誇る岸和田だんじり祭は、この地で生まれ育った庶民の手によって連綿と受け継がれ、今や世界の祭としてその名を轟かせていることをうかがい知ることが出来ました。

12時半、歩いて数分の「がんこ岸和田五風荘」で昼食、みごとな数寄屋造りの屋敷と管理のゆき届い

た広大な庭は、かつて紡績で財を成した寺田財閥一族の居宅を市から借り受けて営業中とのことです。

最後に城下町として栄えた岸和田城の本丸を見学。かつての岸和田城は明治維新の際に取り壊され、現在の天守閣は昭和29年に図書館として建設されたと聞き驚きました。お城は時代を越えてその地の歴史と繁栄を伝える象徴として、市民の誇りに違いありません。

3時半、岸和田駅で解散。約10000歩のウォーキングに心地よい疲れを感じつつ帰路につきました。

ユネスコ 第31回 世界児童画展

第31回ユネスコ世界児童画展は3月15日(火)～20日(日)、西宮市民ギャラリーで開催されました。

今回の児童画の出展数は、西宮市内幼稚園2園50点、市内小学校20校278点、海外8ヶ国192点、合計520点でした。

西宮市内の子供たち、海外の子供たちの絵も共に明るさが目立ち、ギャラリーに入ると途端に楽しい気持ちになりました。

海外からは今年は西宮市の友好都市であるフランスのロット・エ・ガロンヌ県と台湾の台南市から初めて作品が寄せられましたが、それぞれ異なったお国柄が感じられる楽しい絵でした。

開催初日に地元ケーブルテレビの通称ベイコムから取材を受け17日、18日の両日、地元ニュースの中で放映されました。また、開催期間中の3月18日には阪神間ユネスコ協会連絡会が市民ギャラリーが入っている西宮市教育文化センターで開催され、会議の前後には出席された皆さんに児童画を鑑賞していただき大変喜んでいただきました。

お国柄の違い、また年代の違いで児童画にもそれぞれ変化が見られ、それがまた鑑賞の楽しみの一つとなっています。今から来年のユネスコ世界児童画展が楽しみです。



世界遺産シリーズ

奈良・春日山原始林と春日大社

田岡 清志

私たちにとって、もっとも身近な世界遺産のひとつ「奈良」を訪れた。目的地は春日山原始林と春日大社である。阪神電鉄と近鉄が相互乗り入れを開始して、奈良は西宮市内から一時間余りで行けるようになり、ハイキングとして訪れた。近鉄奈良駅から奈良公園を抜け、左手に大仏殿を眺めながら歩くと、やがて若草山の裾野に辿り着く。

若草山は山とは言うものの小高い丘のようなものだ。十分歩けば頂上に着く。ここからの眺めは素晴らしい。緑豊かな古都奈良から遠くに生駒山を望むことが出来る。若草山から奈良奥山ドライブウェイ奥山コースに出る。有料道路だが未舗装で気持ちよく歩ける。すでに春日山原始林の植生が我々を包む。巨木の林立する鬱蒼とした森である。

静かな車道をゆっくり歩く。春日山原始林は春日大社の神域として、樹木の伐採が禁止され一千年の時を経て手つかずの貴重な自然が市街地に近接して残っている。しっかりと保護してゆかなければならない貴重な自然遺産だと思う。車道を進むとやがて柳生街道と交差する地点に辿り着きそこから右へ。石畳の静かな道を春日大社へと柳生街道を下る。

この道は、その昔奈良から柳生への街道筋であった。宮本武蔵をはじめ多くの剣豪が往来していたのかも知れない。歴史のロマンを感じる街道である。坂道を下りきったらまもなく春日大社に到着する。



春日大社では巫女によって神事の舞が奉納されていた。雅楽の調べにあわせ、ゆったりと優雅に舞うその姿に千年の都、奈良の文化が過去から未来へと受け継がれてゆく事を実感できる。春日大社は世界遺産として国内外からの観光客を集めざわめいている。ほんの少しの時間で悠久の自然と歴史と今を感じ取る事の出来る身近な世界遺産である。



事務局だより

☆阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業 in 神戸

2015 年度阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業は 2015 年 10 月 3 日（土）、神戸市勤労会館で開催されました。今回の合同事業は講演会『国際テロの情報について』～平和社会を目指して～と題し、海外旅行の際の心得などについて公安調査庁の調査官の方にご講演いただきました。

☆第 43 回ユネスコチャリティーバザー開催

ユネスコチャリティーバザーは、2015 年 10 月 4 日（日）夙川公民館で開催されました。昨年と同様、「東日本大震災子ども教育支援」への協力を目的として行われたバザーですが、開場の 11 時には多くのお客様に入口に列を作っていました。バザーには会員の手作り品はもちろん、会員外の皆さまからも多くの寄贈をいただきました。

☆2015 年度国際理解講座

2015 年度国際理解講座は、テーマ「私が考える多文化共生とは？」～多文化共生社会の実現に取り組む外国人の方々～で、第 1 回は 1 月 30 日（土）、第 2 回は 2 月 20 日（土）の 2 回シリーズで開催、講師はいずれもブラジル日系 3 世の方でした。

☆第 20 回西宮国際交流デー開催

今年度の国際交流デーは「みんなでつくろう！多文化共生」をテーマに 2 月 6 日（土）、フレンテ西宮で開催され、「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」、「民俗音楽パフォーマンス」などが行われました。西宮ユ協は今年も 5F ブースでミニバザーで参加しました。

☆2016 年度総会 5 月 14 日（土）開催

西宮ユ協 2016 年度総会は 5 月 14 日（土）に西宮市役所南側の西宮市職員会館 3F 大ホールで開催されます。総会後のミニコンサートは、西宮交響楽団弦楽奏者有志による弦楽曲の演奏です。コンサートの後には会員懇親お茶の会も予定しています。



祝 受 賞

会長 辰馬章夫氏（辰馬本家酒造（株）取締役相談役）が、2015 年度西宮市民文化賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

●●● 新 入 会 員 ●●●

普通会員

畠中光成 〒662-0971 西宮市和上町

酒井広徳 〒662-0075 西宮市南越木岩町

協 会 日 誌

（2015 年 10 月～
2016 年 3 月）

- '15.10. 3 第36回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業in神戸
講演「国際テロの情報について」
(神戸市勤労会館)
- 10. 4 第43回チャリティーバザー(夙川公民館)
- 10.18 民間ユネスコ運動の日・募金活動
(阪急西宮北口アクタへの通路)
- 10.24 近畿ブロックユネスコ活動研究会in福知山
(ホテルロイヤルヒル福知山&スパ)
- 11. 7 “にしのみやふるさとウォーク2015”
(阪急夙川駅～阪急苦楽園口駅)
- 11.20 阪神間ユネスコ協会連絡会②
(宝塚市男女共同参画センター学習室)
- '16. 1. 7 英語教室第3期開講
- 1.23 新年理事会、懇親会
(ノボテル甲子園・愛宕の間)
- 1.30 国際理解講座「Ⅰ」(市教委共催)
講演「私が考える多文化共生とは？」
講師 小松絃美氏
(若竹生活文化会館)
- 2. 6 第20回西宮国際交流デー
(フレンテ西宮 4F 5F)
- 2. 9 研修見学会「岸和田散策」
- 2.20 国際理解講座「Ⅱ」(市教委共催)
講演「私が考える多文化共生とは？」
講師 渡辺マルセロ氏
(市役所東館 7F)
- 3.18 阪神間ユネスコ協会連絡会③
(西宮市教育文化センター)
- 3.15 第31回ユネスコ世界児童画展(市教委共催)
～20 (市民ギャラリー)
- 3.31 会報144号発行

— 今後の催しの予定 —

- '16. 4. 7 英語教室第1期開講
- 5.14 2016年度通常総会
- 6.25 第72回日本ユネスコ運動全国大会in沖縄
～26
- 6. 坂田記念セミナー
- 7.19 民間ユネスコ運動の日～夏のキャンペーン～
- 8. “みんなく探検”(市教委共催)
- 9. 1 英語教室第2期開講
- 9. 第44回ユネスコチャリティーバザー
- 9.未 会報145号発行